

3月議会報告①

3月議会が2月22日から始まりました

戸羽市長が新年度の施政方針を発表①

東日本大震災の発生から間もなく7年目。最初に戸羽市長は、震災で犠牲となった方々や行方不明の家族を探し続ける方々、そして避難生活が続く方々の気持ちにふれました。また継続的な支援をしていただいている方々への感謝を述べました。

復興の最重要課題は住宅の再建

戸羽市長は、復興の最重要課題である住宅の再建について、「高田地区の高台3で一部被災者の方々に宅地の引き渡し中。高台4も今年度内の引き渡しを予定。今泉地区は、仮換地指定を行い新年度には高台5、6において宅地の引き渡しを予定。残る高台も一日も早く引き渡しができるように進める」と述べました。

新年度の予算総額は838億円で前年比10%増

新年度予算(案)の概要は、平成29年度当初予算は、一般会計全体で767億4,800万円としており、対前年度比で11.3パーセントの増。特別会計を合わせた全会計の総額は838億6,800万円で対前年度比10.0パーセントの増。

市内各地で整備を進める

- ・ 中心市街地に大型商業施設「アバッセ」が建設中。
- ・ (仮称)高田・米崎間道路の整備に取り組む。
- ・ 被災した住居地域は、水産関係用地や共同利用漁具倉庫、交流の場を整備。
- ・ JR大船渡線BRT「まちなか陸前高田駅」を新設。

新市役所の位置は3月議会で

「新庁舎の整備は、昨年11月に新庁舎建設候補地を示し、これまで議会での議論や市民との懇談会等により、多くのご意見等から、今議会において新庁舎の建設位置を決定していただき、新年度から新庁舎整備に係る事務事業に着手したい。」

一般質問の日程	伊勢 純 議員 3月1日午後2時ごろ～ 1 (仮称)一本松記念館・陸前高田市立博物館の整備 2 平成29年度陸前高田市内公共交通運行方針 3 広田地区のまちづくり
	大坪涼子 議員 3月1日午後3時ごろ～ 1 市役所新庁舎建設位置の選定 2 県立高田病院と今後の地域医療 3 仮設住宅入居世帯等の最終意向調査と仮設住宅の集約 4 保育施設の申込み状況と新年度の保育体制
	藤倉泰治 議員 3月2日午後2時ごろ～ 1 本市の多重防災型、津波防災・減災のまちづくり 2 国民健康保険の都道府県化と国保税の負担軽減 3 国道343号線「新・笹ノ田トンネル」及びBRTバス「一ノ関運行」

県党会議に知事と3野党が初出席 熱い連帯のあいさつに大きな拍手

2月12日、日本共産党岩手県委員会 は、第27回党大会・第1回県党会議を開催しました。来賓として初めて達増拓也知事、民進党県連の畑浩治参与・第2区総支部長、自由党県連幹事長の佐々木順一県議、社民党県連代表の小西和子県議が出席し、連帯のあいさつ。大きな拍手が起き、会場は熱気に包まれました。

達増知事は「共産党には、大震災津波や台風10号災害からの復興に多大な尽力をいただいている」と感謝。2年前の知事選では当時の5野党党首の応援を受けて無投票当選を勝ち取れたと語り、岩手を守り、岩手の力で日本を変えるために「共産党のみなさんも力を発揮してほしい」と期待を込めました。

畑氏は、共産党第27回大会で安住淳民進党代表代行があいさつをしたように、

「野党には違いもあるが、政策で一致して総選挙をたたかえば国民の願いに応える政治に変えられる」と力説しました。

佐々木氏は、共産党の主導的な役割で木戸口英司参院議員(自由党=野党統一)を国会へ送り出せたと強調。「前衛」3月号でも小沢一郎代表がのべているが、「今後も4野党で綿密に連携し、共通政策をつくっていく」と話しました。

小西氏は「参院選で共産党の勢いはすごかった。各地で勉強させられた」と振り返りました。

あいさつ後、達増知事、3野党の代表は、共産党の菅原則勝県委員長、ふなやま由美衆院東北ブロック比例予定候補と壇上で手をつなぎ、参加者らとともに「団結がんばろう」と力強く唱和しました。



写真左より、小西和子社民党県連代表、畑浩治民進党県連参与・第2区総支部長、菅原則勝日本共産党岩手県委員長、達増拓也知事、佐々木順一自由党県連幹事長、ふなやま由美衆院東北ブロック比例予定候補